

[佳 作]

「北方領土について」

江別市立大麻東中学校

1年 長谷川 祥太

みなさんは、北方領土を知っていますか。北方領土とは、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島の四島を含む日本最北の島々です。面積は、合計で5千3キロ平方メートルで、福岡県とほぼ同じ広さです。

北方領土は日本固有の領土ですが、今は元ソ連のロシア連邦に不法占拠されています。

今回の北方領土出前授業では、北方領土の豊かな自然について学ぶことができました。まず、この地域は親潮（千島海流）のおかげで、水産資源が豊富です。歯舞群島の昆布をはじめ、サケ・マス・カレイなどの魚類や、カニ・エビ等の甲殻類、貝類も捕れます。そして、北方領土の近海では、クジラ・シャチ・アザラシなどの哺乳類や、国の天然記念物に指定されているオオワシ・オジロワシや、エトピリカなどの希少な鳥類も生息しています。さらに、北方四島は火山が多く、温泉も有名です。このように、北方領土は北海道とよく似ていると思いました。

元島民の方のお話によると、北方領土は1945年8月28日～9月5日の7日間で占領されたそうです。さらに、「占領されてからは、毎日がソ連軍の監視下であり、恐ろしくて外にも出られない日々が続いた。」とっていました。「やがて、ソ連人と日本人の共同生活が始まり、色々な暴行を受け、苦しんで死んでしまう人も多くいた。」とも語ってくれました。故郷にも戻れず、墓参りに行っても墓石が撤去されているという辛い話も聞き、悲しくなりました。

日本は、今までにロシア連邦と3つの条約を結んできました。その3つの条約は、日露通好条約（1855年）・樺太千島交換条約（1875年）・ポーツマス条約（1905年）です。これらの条約では、北方領土は日本の領土であると、ソ連が認めています。それなのに、占拠されたままとなっている現状はおかしいと思います。

1年前まで、祖父母が根室市に住んでいて、遊びに行った時に納沙布岬に連れて行ってもらいました。そこから、貝殻島などが見え、とても近く感じました。その時に、北方領土についての関心を持ち、返還を求める署名をしてきました。江別市役所でも、北方領土の返還を求める取組を行っています。

これからも、北方領土についての知識を深め、一日でも早く、日本に返還されることを願っています。